

千葉市感染症発生動向調査情報

2016年 第29週 (7/18-7/24) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		29週	28週	27週	26週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数	小児科	18	16	18	18
	眼科	5	4	5	5
	インフルエンザ*	28	26	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定 点	感 染 症 名	千 葉 市						千葉県
		注意報	7/18-7/24	7/11-7/17	7/4-7/10	6/27-7/3	7/11-7/17	
			29週	28週	27週	26週	28週	
小児科	RSウイルス感染症		1 0.06	2 0.13	1 0.06	2 0.11	15 0.11	
	咽頭結膜熱		1 0.06	7 0.44	8 0.44	7 0.39	67 0.50	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		44 2.44	53 3.31	66 3.67	85 4.72	486 3.65	
	感染性胃腸炎		78 4.33	102 6.38	95 5.28	111 6.17	531 3.99	
	水痘		7 0.39	14 0.88	11 0.61	7 0.39	80 0.60	
	手足口病	○	34 1.89	22 1.38	23 1.28	18 1.00	268 2.02	
	伝染性紅斑		6 0.33	5 0.31	6 0.33	6 0.33	40 0.30	
	突発性発しん		17 0.94	13 0.81	17 0.94	24 1.33	64 0.48	
	百日咳		0 0.00	1 0.06	0 0.00	1 0.06	5 0.04	
	ヘルパンギーナ	↓	77 4.28	72 4.50	51 2.83	34 1.89	592 4.45	
	流行性耳下腺炎		6 0.33	8 0.50	13 0.72	6 0.33	134 1.01	
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフル エンザを除く)		0 0.00	1 0.04	0 0.00	0 0.00	6 0.03	
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	流行性角結膜炎		5 1.00	5 1.25	13 2.60	11 2.20	30 0.88	
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 1.00	0 0.00	

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(4件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	60歳代	病原体等の検出等	レジオネラ症	男性	60歳代	病原体抗原の検出
E型肝炎	男性	50歳代	血清IgA抗体の検出	レジオネラ症	男性	70歳代	病原体抗原の検出

・第29週は、結核1件(143)、E型肝炎1件(2)、レジオネラ症2件(5)の報告があった。

※ ()内は2016年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第29週のコメント

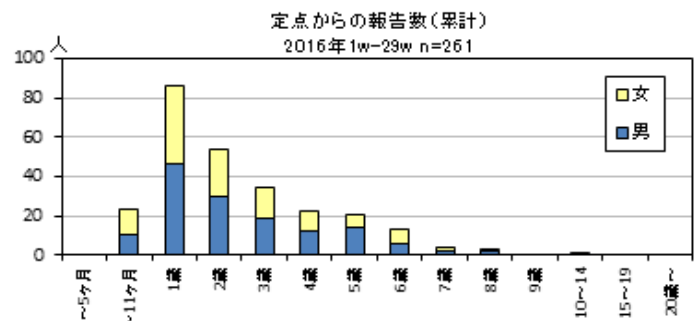
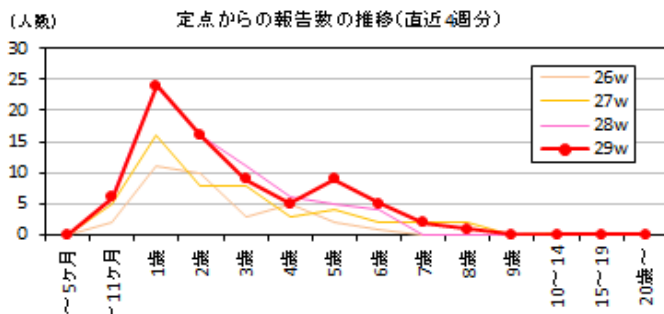
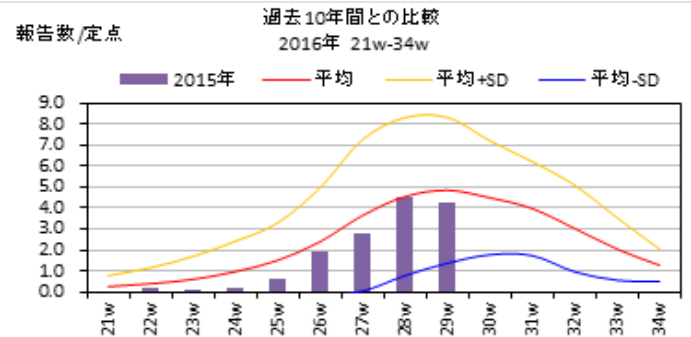
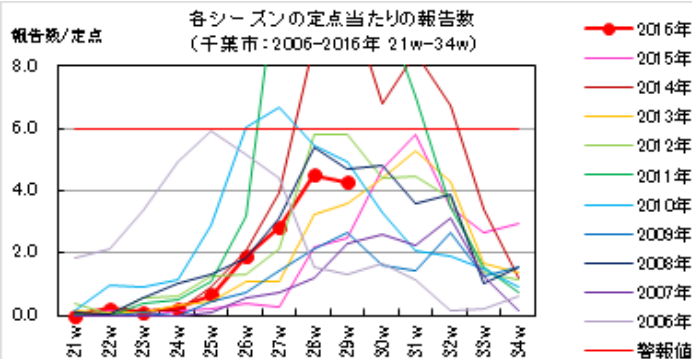
<手足口病> 前週から増加し1.89となった。過去10年の同時期と比べると少なめ。

<ヘルパンギーナ> 前週から減少し4.28となった。過去10年の同時期と比べるとやや少ない。

トピック

<ヘルパンギーナ>

全国レベルの第28週は過去9年の同時期と比べると多めとなっています。都道府県別では、三重県、愛媛県、静岡県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルよりやや多めとなりました。千葉市は前週より減少し4.28となりました。過去10年の同時期と比べるとやや少なめとなっています。区別の発生状況は、若葉区(9.0/定点)で流行発生警報開始基準値(6.0/定点)を上回り最多で、同区の3歳で最も多く発生報告がありました。また、緑区(7.25/定点)でも流行発生警報開始基準値を上回っています。2016年第1週から第29週までの累積報告数(n=261)によると、性別では男性が54.4%(142名)、女性が45.6%(119名)で、年齢階級別では1歳(33.0%:86名)、2歳(20.7%:54名)、3歳(13.0%:34名)の順に多くなっています。



<手足口病>

全国レベルの第28週は過去9年の同時期と比べると少なめとなっています。都道府県別では、鹿児島県、沖縄県、千葉県の順に多く報告されています。千葉市では第26週から連続して増加しており、第29週は1.89となりました。過去10年の同時期と比べると少なめとなっています。区別の発生状況は、若葉区及び美浜区(3.0/定点)で最多で、若葉区の1歳及び2歳、美浜区の1歳で最も多く発生報告がありました。2016年第1週から第29週までの累積報告数(n=121)によると、性別では男性が47.1%(57名)、女性が52.9%(64名)で、年齢階級別では1歳(27.3%:33名)、6~11か月及び2歳(共に17.4%:21名)の順に多くなっています。

